

U06c ゆらぎの線形成長の解釈について

今井 弘二 (京産大理)

宇宙初期のゆらぎの成長を Radiation と D.M. の 2 成分のモデルで計算をし、 $z=1000$ の再結合期での波数 (k) の分布と観測との比較を行った。

より現実的には、ボルツマン方程式等を解いて、3K の輻射場のゆらぎも計算されているが、一般にその物理的な意味は判り難い面がある。しかし、我々の計算によると再結合期の各ゆらぎの大きさが直接観測されていることになり、3K のゆらぎの解釈は明瞭と思われる。